

資料 2

通産省内モデル化推進事業 WG委員に感謝状を贈る

9月13日(木)、59・第3回理事会に引続き、贈呈式が行われた。場所は建築家会館1階ホール。

通産省内モデル化推進計画の事業受託に当っては、協会の委員会としては初の試みとして、賛助会員各社の参加を求め、昭和55年12月に専門委員会(WGワーキング・グループ)が発足した。その後4年間、色々な問題を現実的に処理しながら活潑な活動を続けて来た。

委託側である通産省検査デザイン課の理解と配慮が継続的に得られたことも幸いして、本年3月には報告書を同課に提出することができた。

この顕著な実績が認められて、本年7月4日に行われた新庁舎(本庁舎と呼ばれている)の竣工式席上、小此木通産大臣より協会は感謝状を受けた(JID NEWS 前号にて既報)のは周知の通り。

これを受けて、第2回理事会では、WGの委員各位に協会より感謝状を贈ることを決定し、上述の感謝状贈呈式となったわけである。簡単にWGの活動をふり返ってみると以下ようになる。

昭和 月	
55. 10	通商産業省より打診あり
11	省内デザイン化推進委員会発足
12	ワーキング・グループ(専門委員会)発足
56. 6	実態調査報告(中間)
57. 3	為替金融課・輸出保険業務室モデル課実施報告

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1984 9・10

目 次

●通産省内モデル化推進事業WG委員に感謝状を贈る	1
●次期選考委員選挙のお知らせ	2
●59・第2回理事会議事録	2
●59・第3回理事会議事録	4
●建設省へ要望案提出	6
●シンポジウム「国際デザイン・キャンプ'84-松本」	7
●海外会員だより	8
●北国通信	8
●賛助会員ニュース	8
●会員の消息	9
●新入会員の紹介	11
●事務局短信	16

昭和 月	
57. 6	W・G 委員再編
58. 1	懇親会
6	W・G 委員拡充
59. 3	報告書提出
6	＜官公庁オフィスインテリア ― 内側からの提案＞企画書
7	通商産業大臣より感謝状を受ける
9	感謝状を W・G 委員各位へ
10	報告書上梓（予定）

感謝状贈呈式は、理事会とWG委員の出席により行われた至ってつましいものであったが、労苦をともにした方々の表情は爽やかで、形式にとらわれない気持のよい集りとなった。文末になりましたが、感謝状を受けられた方々のお名前を以下に記します。（正会員18名、賛助会員16社）（正会員）

木村戦太郎・渥美孝道・大野美代子・田辺麗子・市村幸子・藤村盛造・阪井良種・山田伊三郎・永原浄・中田重克・日方和城・新川佐知子・白石勝彦・池邊武彦・高田紀久枝・山岸征史・島崎信・中村圭介

（賛助会員）

株式会社大丸 取締役社長 下村正太郎・松下電工株式会社 代表取締役社長 小林郁・株式会社川島織物 代表取締役社長 岡部正・株式会社イトーキ 取締役社長 三田村之弘・株式会社岡村製作所 取締役社長 石渡正男・プラス株式会社 代表取締役社長 今泉嘉久・ハウトク販売株式会社 代表取締役社長 安藤守・株式会社内田洋行 事務機器事業部長 酒井小次・コクヨ株式会社 代表取締役 黒田暁之助・株式会社くろがね工作所 代表取締役社長 神足泰弘・株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤重幸・株式会社天童木工 代表取締役社長 大山勝太郎・住江織物株式会社 取締役東京支店長 小島重雄・トーソー株式会社 取締役社長 斉藤太一

（順不同、敬称略）

委員の皆様長い間本当にご苦労様でした。

尚、報告書の出版が10月に予定されており、その際、報告会などが計画されていることを付記いたします。

（事務局）

次期選考委員選挙のお知らせ

― 選挙管理委員会 ―

本年は、協会賞の選考など、重要案件を審議する「選考委員会」（昭和60年4月～62年3月任期）の委員10名を選挙によって選ぶ年です。下記のスケジュールに従い、実施の予定です。正会員の大切な権利行使の一つですから、積極的にご協力下さるようお願いいたします。

選考委員（60・61年度）選挙実施スケジュール

項 目	月 日 (予定)	内 容
選管委員長委嘱 (工藤広忠名誉会員)	9/20	被選挙人以外より委嘱
選管委員会発足	9/27	同 上（5名）
通信投票用紙発送 (候補者一覧表)	11/ 5	名誉会員・正会員 一覧表
投票〆切	12/ 3	通信投票〆切
定足数	12/ 5	定足数確認 (事務局)
開 票	12/14	本部・選管委員会
報 告	1/中旬	昭和60年 JID NEWS 誌上

尚、選考委員の選挙は「役員選挙規定」を参考に行います。ご質問・お問い合わせは、本部事務局（03-403-3649）まで。（委員長：工藤広忠）

59・第2回理事会議事録

日 時 昭和59年7月13日(金) 1:30～4:30 PM

場 所 JAA 3階 会議室

出席者 三輪理事長、渡辺優副理事長

理 事 宇賀敏夫、川上信二、島崎 信、
白石勝彦、中川千年、中田重克、
中村圭介、山品 元、わたなべひろこ、
泉 修二

（委任状） 富田卓司、川崎 浩、樋口 治

（順不同）

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり。渡辺副理事長補佐にて、報告事項より審議に入る。

I 報告事項

1. 「資産の総額」変更登記完了

58. 4. 11 (月)行われた通産省による業務監査でのアド

バイスに従い、59年3月31日付で変更登記を行った。

6月14日付で登記完了し、従来1,981,592円であったものを、資産総額4,616,009円に改めた。

2. 協賛・後援名義（2件）

④「国際デザイン・キャンプ'84—松本」（協賛）

主催：(財)国際デザイン交流協会

〈59.8.3～4松本〉

⑤「'85東京国際家具見本市」（後援）

主催：(社)国際家具産業振興会

〈60.11.20～24東京〉

以上いずれも了承された。

3. 「感謝状」を受ける

「省内モデル化推進事業(受託事業)」に対して、小此木通商産業大臣より59年7月4日新庁舎竣工式席上、感謝状を贈られた。三輪理事長および木村戦太郎W・G委員長などが出席した。

4. 「感謝状」を呈す

JID'83展(58年11月21日～25日)に伴う巡回展(東京および大阪)へのご協力に対して、ミサワホーム株式会社に感謝状を贈呈した。59年6月24日正副理事長および事務局長が同社を訪問、呈上した。

なお、同様の主旨で、(社)国際家具産業振興会(小菅一郎会長)に対して、7月13日夕刻、贈呈が行われる予定。

5. 事業参加申込状況

④IFI地中海会議(1985.5.25～6.1)

〈渉外委員会〉

7月12日現在で18名

⑤年鑑『日本のインテリアデザイン』第4集

〈出版特別委員会〉

7月13日、贈賞式と出版記念パーティに70名

6. 『インテリアマップ TOKYO エリア'84～'85』

〈新マップ出版特別委員会〉

59年7月20日刊行予定で進行中である。

(社)インテリア産業協会とは事務局長間で6月22日覚書の交換を行った。

7. 第16回NEOCON国際会議出席報告

59年6月12日～15日に米国シカゴ市で開催の同会議にスピーカーとして出席した三輪理事長から、内容報告がなされた。

II 議 題

1. IFI 出版関係

JIDも加盟しているIFI(国際インテリアデザイナー団体連合・本部アムステルダム、バーナード・エス・ヴィニック会長、23ヶ国加盟)では、各国の加盟団体間での連絡をとりつつ、色々な事業計画を進めている。その一つに「IFI Year-book」がある。日本への協力打診が非公式にあったので、今後の対応について審議した。

打診経過につき島崎理事より説明あり。今後、IFIの企画等を確認して対応を進めることとし、渉外委員会の担当となった。

2. 野口記念事業の運営について

第3回目の事業年度を迎えているが、現況の事業内容、規模を続けた場合、財政面で原資低減を招くこととなる。以上事務局長よりの説明を受けて、活潑に意見が出された。結果、今後の事業内容・規模に修正もあり得るとして、時間をかけ慎重に検討することとした。当面、59年度は現行通りとするが、併行して選考委員会で議題にとりあげることを理事会として要請する。白石理事(前選考委員長)より垂見選考委員長に伝えることとなった。

3. 会員の拡大と会員規定(入会資格)の改訂について

第16回通常総会での報告事項の一つとして上程された改訂(案)が保留となったので、改めて本理事会の議題とした。検討の結果、総務委員会(中村圭介委員長)に付託して(案)の修正を行うこととした。次回通常総会(昭和60年5月の予定)に再上程する。

4. 病気会員の件

山口勇次郎さん(関東支部・正会員)と岡村実さん(関西支部・正会員)が病気療養中である。提出資料に従い審議の結果、会員規定第8条1項(2)に基づき、当該事由の止むまで会費免除を決定した。

5. 新年度の事業推進について

④広報・事業の両委員会に関して、新年度の委員長が未だ空席である。有力な正会員の氏名が挙げられた。正副理事長担当でご本人に打診、就任方を要請する。

⑤中部支部長は6月23日、林寅正さん(中部支部・

正会員) が再選され、理事会はこれを了承した。

- ㊦ 委員長連絡会は従来必要に応じ開催されていたが、今後更に効果ある運営をすることとし、その開催・運営等、渡辺副理事長に提言と管掌をお願いすることとなった。

㊧ J I D 組織の強化について

すでに59・第1回理事会(5月25日)に提出の、情報活動検討委員会・事業委員会(合同会議)の報告書が再度資料として提出された。

J I D の事業基盤は組織と財政である。その組織の本質的な諸点について報告書は指摘しているもので、次回理事会に向けて更に検討を加えた上で、改めて議題とする。また、各委員会の事業計画も併せ議題とすることとなった。

6. W・G 委員への感謝状贈呈の件

W・G(通産省内モデル化推進事業ワーキング・グループ―木村戦太郎委員長)では昭和55年からの事業に関して、現在「報告書」をまとめている。感謝状贈呈については、事業実施への貢献に対し、57・第7回理事会(58年4月1日開催)に、当時の選考委員会より提案があり、審議保留となっていたものである。

本件につき再度提出され審議の結果、委員各位に感謝状を贈呈することが決定された。

7. 入退会関係(7件)

・入 会

氏 名	種 別	推 薦 者
坂 田 守 正	正 会 員	栃谷賢一・中村圭介
佐 野 進	〃	長岡貞夫・山品 元
菅 原 培 夫	〃	福田友美・森谷延周
福 田 武	〃	迎井夏樹・川崎 浩

・退 会

青 島 国 男	準 会 員	
光 建 産 業 (株)	賛助会員	
昭和エフキャスト(株)	〃	

以上の件につき、資料に基づき入退会の審議が行われ、いずれも承認された。

次回理事会は 59. 9. 13 (木) の予定。

(以 上)

59・第3回理事会議事録

日 時 昭和59年9月13日(木) 1:30～4:50 PM

場 所 J A A 3階 会議室

出席者 三輪理事長、渡辺副理事長

理 事 宇賀敏夫、川上信二、島崎 信、
白石勝彦、中川千年、中田重克、
中村圭介、樋口 治、山品 元、
わたなべひろこ (到着順)

・委任状 富田卓司、川崎 浩

名誉理事 松本政雄

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり。渡辺副理事長補佐にて、報告事項より審議に入る。

I 報告事項

- ① 「インテリアマップ TOKYO AREA 84～85」発刊
第3集とも云うべきマップが発刊された。会員には特別価格の斡旋販売となる。

- ② 「通産省デザイン課推進」ワーキング・グループ
(木村委員長)

- ③ 委員(正会員18人、賛助会員14社)への感謝状を
9月13日付で贈呈する。

- ④ 新庁舎6階のアルコール専売(基礎産業局)より
の受託事業を現在実施中である。

- ⑤ (社)インテリア産業協会関係
昭和59年度インテリアコーディネーター試験の日程、
場所が以下の通り決定した。

第1次試験(59. 11. 23(金))、於 東京・大阪・札幌・広島

第2次試験(60. 1. 20(日))、於 東京・大阪

- ⑥ (社)国際家具産業振興会関係

第4回「'85東京国際家具見本市」の開催について
出品要項が紹介された。60. 11. 20(木)～24(日)の間、
東京晴海の国際見本市会場にて開催される。

- ⑦ (社)日本インダストリアルデザイナー協会

従来より空席となっていた事務局長に羽原肅郎氏が
新たに着任された。4団体を招いて9月28日パーティ
が催される。

- ⑧ (社)日本建築士会連合会関係

建設省よりとして、インテリアデザイナー関連の記
事が朝日新聞(58. 12. 30)等に報道されたが、これにつ

いては其の後も J I D として強い関心を持っている。

今回は事務局長が表題の団体を訪ね打診したことについて報告された。資料として建設省生産課長、建築指導課長双方に提出した要望書「インテリア関係資格者制度について」のコピー等が提示された。会員には J I D ニュース誌上で内容報告の予定。

⑦ 通産省検査デザイン課

同課では昭和60年度事業の一つに、「デザイナーバンク構想」の案を検討中である。これについて関係団体として5団体の正会員、事務局長に集まってもらい、意見を聞く会が開かれた。J I D よりは総務委員会関係委員が以下のように出席した。

- ・ 59. 7. 17(火) 前原 誠, 山品 元
- ・ 59. 7. 23(月) 中村圭介, 前原 誠, 山品 元

⑧ 新・会員名簿制作着手(事務局)

昭和60・61年度版として内容大改訂の線で制作に着手した。体裁現行通り。10月末配布が目標。

⑨ 野口記念賞公募開始

1984年度野口賞, 野口記念奨励賞の公募が開始された。公募ポスターが提示された。

⑩ I F I (国際インテリアデザイナー団体連合) 関係

前理事会で議題にとり上げられた「I F I Year book」についての照合に対する Vinick 会長あての返書(案)が提示された。審議の結果原案通り理事会了承となった。

⑪ 中部事業支部関係

デザインシンポジウム中部'84「新世紀に向けて—中部のデザインを考える」が, J I D を含む9団体の合同主催で9月27日開かれることとなった。

⑫ J D D (日本・デンマーク・デザインセミナー) 実行委員会(島崎委員長)

「いま, なぜデンマークデザインか」のテーマで12月初旬, 東京開催の予定である。パネリストを委員中心とし, 在日デンマーク大使館の協力を得て実施する線で企画を進めている。

以上12件につき①～⑨を, 主に山品事務局長が, ⑩を中田理事, ⑪を宇賀理事, ⑫を島崎理事がそれぞれ報告を分担して行った。

II 議 題

(イ) 新年度の事業推進について

① 組織の強化

前回の理事会でも議題となった「会員資格の細目」案が参考例となり, これからの協会はどのような方向を目指すべきか。その為の組織とは, 財政とは, という基本線(ビジョン)での討議が渡辺副理事長より提案された。

細目(案)一つをとっても, こうした基本線の確立がなされれば, 執行部としての理事会の決定が直ちに条文の字句にも明確に表われ得る。

以下各理事(中田・渡辺・白石・三輪・樋口・泉・中村・山品・わたなべ・宇賀・川上・島崎他—順不同)の発言要旨。

- ・協会事業に関する基本的な方針について論議を尽そう。
- ・社会の変革に対応する柔軟な対外姿勢と, 内部の組織充実とを両立させて行くことが肝要だ。
- ・デザイナーの質的低下を恐れて入会基準を律する消極的姿勢より, よりグローバルな視点で積極的に会員獲得を考えたい。社団法人の意味も実はそこにある。
- ・広く解釈して, 造形に携わる専門家を対象に, 新入会員を受け入れて行くのが, 現実の国際的な変化に対応できるのではないか。
- ・社団法人としての社会的使命, 会員としての対社会的オーソライズ, 会員であることのメリット等多極的な関連を掘り下げたい。地方会員の場合は特にこの点が重要だ。
- ・社会からの訴求は類似の職能に傾斜するおそれもある。問題はクリエイティブな特質を備えている人々をどうやって J I D に眼を向けさせ, 参加させて行くか, にある。
- ・インテリアコーディネーターの職能を営む分野は, フリーランスで活動する人々を対象に考えてはどうか。
- ・国内での J I D のおかれている位置を, 国際的な視野に投影してみると論点は明瞭になって来る。例を I F I 加盟の団体を例にとると, J I D はイ

インテリアデザイナーの団体として唯一オーソライズされていることは自他とも周知の事実である。

- 建築士会、日本建築家協会等の例にも見られるように、建築士すなわちアーキテクトの認識ではない。国際的にオーソライズされているアーキテクトの団体としての日本建築家協会の姿を理解したい。

- 社会的にアピールする事業を通して行くことを第一義に考えれば、その方面の展望が開けてくると思う。

- デザインコンペのような形式を活潑に行うことは社会性があるのではないか。

- その場合、財政面にプラスする活動であることを見落してはなるまい。

- オーソリティ（社会的権威）は自ら決めるべきものではなく、対外的に、時間の経過とともに決まってくるものだ。

- 職能としての境界領域がとり払われつつある現実を踏まえ、協会としてどのような基本線（ビジョン）を持つべきか、コンセンサスに向けて論議を尽すことを続けよう。

- 手始めとして、「会員資格の細目」案に関連して、「入会審査委員会」をつくるのはどうか。

以上のように、各理事より活潑な発言と提案が行われた。これを受けて、参考例としてとりあげられた「会員資格の細目」案は更に継続審議する。

また、入会審査に先立ち、選考委員会に予備審査を付託する。理事会はその意見を尊重して入会決定を行うことが承認された。

② 人 事

昭和59年度組織の中、広報・事業両委員会の委員長が未決定である。速急に人選を進めるべし、という意見が大勢を占めた。

これを受けて正・副理事長の担当で、当理事会で具体的に名前を挙げられた会員を中心に人事の決定を行うこととした。

③ 事業の推進

情報活動検討委員会・事業委員会（合同会議）報告者の資料を中心に討議が行われた。その結果、10月

下旬～11月初旬の時期に照準を絞り、「理事・委員長合同会議（仮称）」を開催することとなった。

開催日程、企画等については正・副理事長および事務局長で煮つめて決定する。

(ロ) 協賛名義（3件）

以下の資料が提出され、事務局長より説明が加えられた。結果、いずれも可とし、承認された。

- 日米ジョイントシンポジウム

＜インフォメーション・コンピューター・デザイン＞

- 主催：大阪芸術大学、59.10.31～11.2（大阪）

- 第8回大阪産業デザインコンテスト

主催：大阪産業デザインコンテスト運営委員会

59.12 審査、60.2 発表（大阪）

- '85 ショップ&ディスプレイショウ ナゴヤ

主催：名古屋ディスプレイ協同組合

59.12.14～15（名古屋）

(ハ) 入会関係（4件）

氏 名	種 別	推 薦 者
後藤 宣夫	正 会 員	三輪正弘・遠藤誠之
江島 太士	〃	中川千年・伊藤邦隆
石井 信義	〃	〃
石井 三雄	〃	吉川 弘・長堀映司

以上の件につき、資料に基づき入会の審議が行われ、いずれも承認された。

次回理事会は 59.12.7 ㈥の予定。

（以 上）

建設省へ要望案提出

— (社)日本建築士会連合会 —

59・第3回理事会議事録の中、報告事項⑥(社)日本建築士会連合会関係の項との関連事項です。

昨年12月30日に朝日新聞に掲載された建築士対象の記事は、インテリアデザイナー、インテリアコーディネーター何れにも関わる問題として、其の後継続して関心が持たれている件です。協会としても理事会を中心に、その後の動向には重大な関心を払っている問題です。

此の度、建築士の全国的規模の団体である士会連合会が、別掲のように建設省の2課長（住宅生産課長、建築指導課

長)宛に要望案を提出しました。要望案は約1,500字に及ぶものです。ここにその中心をなす部分を抜粋して転載いたします。

尚、同会の機関誌「建築士9月号」(70~72ページ)に
関連記事が載っていますので、お手持ちの方はごらん下さい。

建設省住宅局住宅生産課長 殿

建設省住宅局建築指導課長 殿

社団法人 日本建築士会連合会

会 長 太 田 和 夫

インテリア関係資格者制度について(要望案)

昨年末、一部新聞に、建設省は建築士を対象に「インテリアデザイナー及びインテリアアドバイザー」の資格制度を発足させる構想の下に、住宅局長の私的諮問機関としての委員会を設置し、検討に入る旨の報道がなされました。本会としては、

— 中 略 —

下記のような線で検討を進めております。

つきましては、建設省におかれても本会の意のあるところをご賢察の上、ご検討されるよう要望いたします。

記

1. インテリアの設計・施工に携わる者の資格制度について

(1) インテリアに関する各界の動き、通産省所管のインテリア・コーディネーターの試験の実施状況等を勘案するとき、何らかの形でインテリアの設計・施工に携わる者について影響のある資格制度が生まれることは避けがたいとの認識に基づき、むしろ本会としては、インテリアに関心を持つ建築士を適正に評価する形で資格を検討することによって、その創設を積極的に推進すべきものとする。

(2) この場合、インテリアの設計・施工は、建築士の本来の業務に属するものと認識しているが、この際、その立場を一層明らかにするとともに、高度化多様化しつつある消費者のニーズに的確に対応して行くため、特にインテリアに関心をもつ建築士を対象に研修制度を発足させ、その修了者を新資格制度に基づく資格者とすることが適当と考える。

(3) 資格制度の発足にあたっては、当然資格者の認定、

登録等の業務を行う機関が指定されることとなるが、インテリアの設計・施工の業務に必要な知識・能力の最も基本的な部分が建築技術に関するものであることに鑑み、これにふさわしい機関を選定しなければならないことは勿論であるが、更に建築士と深いかわりを持つ制度である点を考慮し、実施機関としては、相互の委託関係も含めて本会及び財団法人建築技術教育普及センターがそれぞれ役割を分担し、協力してこれにあたるのが、新制度を円滑に実施に移し、実効をあげるために最良の方策と考える。

2. インテリアの消費者教育に携わる者の資格制度について

— 省 略 —

※ 全文ご希望の方は事務局までご一報下さい。電話の場合は(03-403-3649)朝妻まで。

(事務局)

シンポジウム 「国際デザイン・キャンプ'84—松本」

(財)国際デザイン交流協会主催の「デザインキャンプ'84」が盛夏の8月3~4日の2日間、長野県松本市で開かれた。ルイジ・コラーニによる「バイオデザインの哲学」と題するものとドナルド・キーンの「世界から見た日本の文化とデザイン」という2つの講演は、参加者にとって興味ある内容であった。前者は独特のデザイン展開をしている基本哲学を現代を生き抜く智恵である、と率直に吐露し、後者は日本文化の本来の特性は普遍性にあるとして、自閉、孤立した特殊のものだとする考えを排した。

JIDからも下記の11会員が参加し、シンポジウムの活動を通じ、関連団体との方々との交流、親睦の実も挙げる事ができる。

南 原 七 郎 (関西)	八 代 美智子 (中部)
川 崎 浩 (〃)	小 柳 朝 一 (〃)
芦 田 育 三 (〃)	林 寅 正 (〃)
秋 田 嘉 正 (〃)	大 橋 義 博 (〃)
池 上 俊 郎 (〃)	宮 沢 靖 (関東)
川 上 信 二 (関東)	

(カッコ内は所属支部、順不同、敬称略)

海外会員だより

— 米シアトル市 清水忠男 —

さわやかな風の吹く季節となりました。皆さま、お元気におすごしのことと存じます。

私の方は、今夏、デザイン事務所、ザ・バーディック・グループを円満に退職いたしました。1978年にクランブルック・アカデミー・オブ・アートの大学院を卒業して、すぐに参加したのですから、ちょうど6年間勤めたことになります。この間、家具担当チーフデザイナーとして、主にハーマン・ミラー社のためのオフィス用システム家具開発を手がけてきましたが、エグゼクティブ用デスクシリーズなどにより数多くのデザイン賞を得ることができましたのも、日頃皆さまからのさまざまな形でのお力添え、アドバイスがあってのことと、心から感謝いたしております。

なお、ザ・バーディック・グループで私が担当したハーマン・ミラー社のための2つ目の大型プロジェクト、一般オフィス用デスクシステムは、来年初夏に米国及びヨーロッパ市場で発表される予定です。何らかの折りに御高覧、御高評いただければ幸いです。

この9月中旬からは、ワシントン州シアトルにあるワシントン大学芸術学部助教授として家具など環境関連プロジェクトのデザインを教え始めました。これまでの私の経験が少しでもデザイン学生の能力拡大に役立ってくれば願ってもないことですし、教育プロセスはそのまま自分自身の方法論をとりまとめるにうってつけの機会でもありましょう。

もちろん、教育の場のみに限らず、デザイン実務を通して今後もさらに研鑽を積んで行きたいと思っておりますので、これまでに変わらぬ御鞭撻、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

(1984年秋、米国シアトルにて)

北 国 通 信

— 札幌市 山本信 —

8月には(社)インテリア産業協会の北海道支部を発足させ、副支部長を委嘱されました。JIDの支部など長い間いつも思っているのですが、いずれにせよ継続的なことをやり

たいと考えております。

インテリア産業協会の受験講習会の講師とか、試験管理委員とか、また、昭和60年度から通産省で予算化を目論んでいるデザイナーバンク等、人づくりやデザイナー登録に関して、地方事業団体への働きかけを協会主導で進めて欲しいものと思っております。このようなことがありませんと地方にいる会員のメリットはなかなか出てまいりません。幸いなことに北海道は10名足らずですから、まとまりの上では可能性が高いと思っております。活路開拓とか、産地振興法、デザイン振興など、多くの助成事業がありますので、ほかの会員にも参画してもらおうと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。(関東支部)

賛助会員ニュース

◇日本ビクター株式会社 P & S センター

皆さまにおかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

当日本ビクター株式会社デザイン部は、私たちの内外の状況の変化にかんがみ、昭和59年9月21日をもちまして現在の組織名称を改め〔日本ビクター株式会社P & S センター〕と改称することに致しました。

PとSの文字に象徴されますように、私たちは人(People)と社会(Society)に深い関心を抱きつつ、人間生活に価値をもたらす製品(Products)とその周辺のもの(Surroundings)の創造に専心してまいりたいと考えます。

今後とも一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

・所在地及電話番号

〒221 横浜市神奈川区守屋町3-12 (代)045-453-1111

・組 織

理事・センター長	長 島 純 之
次 長	佐 伯 明
デザイン一部	部 長 小 幡 文 雄
デザイン二部	部 長 長 島 純 之
デザイン三部	部 長 滝 本 哲 郎
業務推進室	室 長 米 田 裕 作
企画情報室	室 長 佐 伯 明
研究調査室	室 長 長 島 純 之
主幹技師	佐 久 間 務

◆トーソー株式会社

「住まいのトータルインテリア作品コンテスト」（トーソー出版、「ホームデコレーション」誌 創刊10周年記念）の入賞作品を発表しました。

全体で201点の応募の中から、特別優秀賞3点、優秀賞8点、佳作11点、アイディア賞1点、チャレンジ賞3点、マイホーム賞2点、リフォーム賞3点、奨励賞1点、合計32点が決定しました。入賞作品は去る9月14日～19日まで東京・池袋の西武ハビタB1F ギャラリーで「第1回住まいのトータルインテリア作品コンテスト・入賞作品発表会」として展示されました。

尚、詳細は「ホームデコレーション」№43（9月既刊）に掲載されています。お問い合わせは、トーソー出版株式会社内、同コンテスト事務局（03-552-1001） 持田明彦まで。

会員の消息

◆山口道夫（関東）

事務所を下記に移転いたしました。

9月1日より新事務所にて業務を行います。新しい仕事に積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

ぜひ、新事務所にお立ちより下さいます様御案内いたします。

新事務所：〒550 大阪市西区靱本町1-13-14 奥ビル6F-C
新電話番号：06-446-1338

◆黒岩靖司（関東）

10年余おりました北海道東海大学を退職し、北陸富山県の高岡市に、国立高岡短期大学産業工芸学科を造るため移り住みました。今後よろしく御指導お願い致します。

北陸路お通りの節は、ぜひお立寄り下さいませ。すまいは富山駅北口すぐの所です。

勤務先：高岡短期大学

〒930 富山市牛島新町3-29-203

電話（0764）42-5278

自宅電話：（0764）42-5734

◆玉置勇一（中部）

このたび、勤務先である愛知株式会社取締役副社長に

選任されました。つきましては何卒ご高承のうえ今後とも一層のご厚誼ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら誌上にてご通知かたがたご挨拶申し上げます。

◆嶋佐知子（関東）

コスモスが風になびく頃となりました。皆様方には、いかがお過していらっしゃいますか。私儀この度、社名変更と共に事務所を移転致しましたのでご通知申し上げます。高田馬場駅早稲田口よりロッセリア横を入り2分、早稲田ゼミの前で、事務所というよりは、住宅的“ながら空間”のささやかなものですが、こちらにいらした折りはお立寄り下さいませ。 — 中 略 —

今後は、従来のデザイン活動、指導、執筆、講演、企業の御相談、企画のほかに、以前から手がけていました、インテリアコーディネーターの私塾を組織的にし、また私が1年半継続しました“ざざりんぐゼミナール”も再開いたしますので、どうぞ今後ともよろしく御叱責、御指導下さいますようお願い申し上げます。

新住所：〒162 東京都新宿区高田馬場1-28-19

天泉マンション201

新社名：嶋住環境設計株式会社（略称SJS）

電話 03-232-6158

◆岡部史子（関東）

◆内村 麗（関東）

暑かった、今年の夏は、いかがお過ごしでした？

びんぼうひまなしの私達も、夏の終りには涼しい所へ出掛ける事ができまして、遅ればせながらの日焼けとあいなりました。

皆さんが日焼けもうすれた初秋の頃、私達はポート屋のおばさんと、アサリ売りのおばさんの様な顔でおりました。（後略） お便りより抜粋しました。

◆島崎 信（関東）

此の度、株式会社島崎信デザイン研究所は業務充実の為、下記の通り社名の変更を行いました。

今後とも宜しく願い申し上げます。事務所の社名変更に伴い、下記の住所に移転いたしましたのでお知らせ申し上げます。

新社名：㈱エス・ディー・アイ

新住所：〒160 東京都新宿区新宿1-30-10 第2交栄ビル3F

電話 03-352-5297 FAX 03-352-5993

尚、上記(株)エス・ディー・アイの社名変更に伴い、当事務所に隣接して新しく研究部門として(株)島崎信事務所を設立いたしました。今後とも(株)エス・ディー・アイ同様、宜しくお願い申し上げます。住所は上記と同じ。
電話 03-352-5499 です。

◇村井輝男 (関東)

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、浅草駒形に事務所を開設して以来早いもので満4年が過ぎました。これを機会に気分一新、より良い仕事を目差して新しい環境へ移転致します。

新事務所はマンションの8階ですので東京の街並が一望でき、窓から入る風と共に癒かし新鮮なアイディアが湧くのではないかと考えております。

お近くにおいでの際は、眺望・風色を楽しみに是非お立ち寄り下さい。

何卒今後とも一層の御指導御支援の程、よろしくお願い申し上げます。

・(株)村井デザイン事務所

〒123 東京都足立区梅田7-25-13 コープ野村梅島802号
電話 03-889-8866 (代表)

湯川事務所の異動

例年、年度の初めにお知らせしている「JID 会員のための専門家案内」に異動がありました。お手元の資料から削除して下さい。下記の湯川旭氏には、JID も長年にわたり、役員の登記を初め、会員の方々も個々にお世話いただいたことと思います。誌上より厚く御礼申し上げます。
謹啓 秋涼の候愈々御清栄とお慶び申し上げます。私儀突然に恐縮でございますが、9月末日を以て事務所を閉じる事にいたしました。

隣の「山田事務所 461-5938」が、あとを受けて下さいますので、御希望により引さづきよろしくお願い申し上げます。

室内の手直しもございますので、数日後には従来の電話(461-6604)も御利用いただけるかと存じます。

書状での簡単な御挨拶をお有し願います。

長年の御厚誼ありがたく御礼申し上げ併せて会員各位の一層の御繁栄をお祈り致します。 敬 具

昭和59年9月

〒150 東京都渋谷区宇田川町6番14号
司法書士 湯 川 旭

JID 賛助会員ディレクトリー

(抜粋)

(株) 内 田 洋 行 神奈川県鎌倉市上町屋809 〒247 (0467) 44-6171 内線26 近藤明夫(研究所次長)	(株) 川 島 織 物 インテリア東京営業本部 東京都千代田区永田町2-14-2 〒100 山王グランドビル5F (03) 580-4511 衣川雄二(営業企画課課長)
(株) 岡 村 製 作 所 開発部: 東京都千代田区永田町2-14-2 〒100 山王グランドビル8F (03) 581-9556 安藤孚(インダストリアルデザイン部)	(株) カ ワ キ チ 東京都新宿区西新宿7-5-20 〒160 (03) 366-7824 吉田恵次(リリーカラーショールーム所長)
鹿 島 建 設 (株) 建築設計本部インテリア・デザイン部 東京都新宿区西新宿2-1-1 三井ビル27F 〒160 (03) 344-2111 鈴木高道(インテリア・デザイン部部長)	共 同 通 信 工 業 (株) 東京都千代田区内神田2-16-13 神田ビル 〒101 (03) 254-1261 栗真宜雄(代表取締役)

(株) くろがね 工 作 所

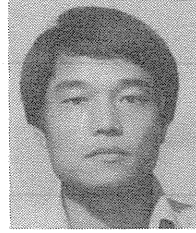
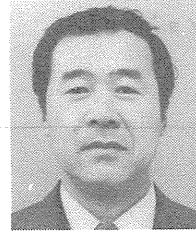
東京都港区芝5丁目29-20 三田ビル 〒108
(03) 455-4311 内線35
米山俊行 (オフィスプランニングセンター)

コ ク ヨ (株)

東京都港区港南1-8-35 〒108
(03) 450-5111 内線311
田中兵衛 (東京設計部意匠設計課課長)

新入会員の紹介

正 会 員

と う のぶ お 後 藤 宣 夫 (会員番号559) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推 薦 者〉	丹下健三都市建築設計研究所 東京都港区赤坂7-2-21 〒107 03-408-7121 東京都世田谷区奥沢2-33-8 〒158 03-717-2601 三 輪 正 弘 ・ 遠 藤 誠 之
い し のぶ よし 石 井 信 義 (会員番号560) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推 薦 者〉	大分県日田産業工芸試験所 大分県日田市石井町3丁目 〒877 0973-23-2213 福岡県浮羽郡田主丸町大字志塚島1167 〒839-12 09437-3-0889 中 川 千 年 ・ 伊 藤 邦 隆
え じま ふと し 江 島 太 士 (会員番号561) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推 薦 者〉	青柳木工館 大分県日田市日の出町33-2 〒877 0973-22-7111 大分県日田市朝日ヶ丘576-54 〒877 0973-23-8872 中 川 千 年 ・ 伊 藤 邦 隆
い し みつ お 石 井 三 雄 (会員番号562) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推 薦 者〉	日揮㈱ 横浜市南区別所1-14-1 〒232 045-712-1111 内線4481 横浜市戸塚区和泉町3709 吉 川 弘 ・ 長 堀 映 司

会員の移動

正 会 員

会 員 名	移 動 事 項	新
島 崎 信 (関 東) P. 70	事 務 所	有限会社 島崎信事務所 東京都新宿区新宿 1-30-10 〒160 03-352-5499
目 次 昭 雄 (関 西) P. 153	勤 務 先	セキスイ インテリア㈱ 専務取締役 大阪府吹田市江ノ木町 23-5 〒564 06-386-6101
黒 岩 靖 司 (関 東) P. 62	勤 務 先 自 宅	国立高岡短期大学産業工芸学科教授 富山市五福 3190 富山大学内 〒930 0764-42-5278 富山市牛島新町 3-29-203 〒930 0764-42-5734
永 原 净 (関 東) P. 89	ア ト リ エ	東京都新宿区西新宿 8-14-17 アルテール新宿 301 〒160 03-365-0192
武 藤 豊 彦 (関 東) P. 105	事 務 所	㈱エム・ディー 東京都渋谷区西原 3-11-9 〒150 03-467-6100
村 井 輝 男 (関 東) P. 105	事 務 所	東京都足立区梅田 7-25-13 コープ野村梅島 802号 〒123
鈴 木 儀 雄 (関 西) P. 140	事 務 所 自 宅	大阪市天王寺区悲田院町 9-21 〒543 06-779-2207
金 子 誠之助 (関 西) P. 134	勤 務 先	㈱高島屋事業本部事業統括部 設計室
並 川 拓 史 (関 西) P. 145	自 宅	兵庫県宝塚市中山桜台 6丁目 17-1-1012 〒665 0797-88-8970
嶋 佐 知 子 (関 東) P. 70	事 務 所	嶋住環境設計㈱ 東京都新宿区高田馬場 1-28-19 天泉マンション 201 〒160 03-232-6158
海老沢 宏 (関 東) P. 44	事 務 所	㈹海老沢宏環境工房 東京都港区麻布狸穴 41-1 LM麻布狸穴 102 〒106 03-589-4335~6 FAX 03-589-4337

正 会 員

会 員 名	移 動 事 項	新
山 口 道 夫 (関 西) P. 155	事 務 所	大阪市西区靱本町1-13-14 奥ビル6F-C 〒550 06-446-1338
合 田 正 美 (関 東)	勤 務 先 ・ 事 務 所 自 宅	㈱合田デザイン事務所 東京都渋谷区宇田川町2-1 渋谷ホームズ922 〒150 03-476-1614 千葉県東葛飾郡沼南町大津ヶ丘3丁目17番5-506 〒277 0471-92-0987
清 水 忠 男 (関 東) P. 71	勤 務 先 自 宅	University of Washington, School of art 助教授 DM-10 Seattle, Washington, 98195 U.S.A. 206-545-1714 16706-39th Ave. N.E. Seattle, Wa, 98155 206-367-5803
石 田 忠 昭 (中 部) P. 177	勤 務 先	㈱石川県デザインセンター 石川県金沢市戸水町イ-80番地 石川地場産業振興センター3F 〒920-02 0762-67-0365
河 端 二 郎 (関 東) P. 58	事 務 所	㈱インテリアエリア 東京都港区西麻布2丁目12番2号 〒106 03-409-3701(代) FAX 03-409-3969
玉 置 勇 一 (中 部) P. 181	役 職 名	取締役副社長

準 会 員

中 沢 ひろし (関 東) P. 198	勤 務 先	重縫室内建築研究室 東京都大田区鵜の木2-45-5 ベラコート245-202号 〒146 03-757-3002
---------------------------	-------	--

賛 助 会 員

㈱ イ ト ー キ P. 216	担 当 者	オフィス商品部 部長 大島 錠太郎
㈱ サ ン ゲ ッ P. 221	住 所	愛知県名古屋市西区幅下1-4-1
日 本 ビ ク タ ー ㈱ P. 232	デ ザ イ ン 部	日本ビクター㈱ P&Sセンター

住 江 織 物 ㈱ 東京支店 P. 224	担 当 者	赤 松 達 男
--------------------------	-------	---------

会 議

〔 8 月 〕 16 日 JDD実行委員会	〔 9 月 〕 4 日 WG委員会	〔 10 月 〕 5 日 関東事業支部委員会
18 日 渉外委員会	11 日 関東事業支部委員会	8 日 JDD実行委員会
	13 日 59・第3回理事会 (予定)	11 日 教育委員会
	19 日 JDD実行委員会	

寄贈図書 (・印寄贈者)

・福岡市立博多工業高等学校	20年のあゆみ	7. 30	
・(財)工芸財団	国井喜太郎産業工芸賞の人びと	9. 10	
・日本特殊合板工業会	特殊合板便覧	9. 17	
・㈱建設ジャーナル	全国設計事務所名簿	9. 17	
・(財)流通システム開発センター	流通システム 情報ガイドブック 1984	10. 1	

JID 賛助会員ディレクトリー (抜粋)

コ ク ヨ (株) 大阪市東成区大今里南6-1-1 〒537 (06) 976-1221 内線573 清家淳一 (意匠設計部意匠設計課長)	(株) サ ン ゲ ツ 愛知県名古屋市中区小舟町2-14 〒451 (052) 565-1133 奥村和明 (企画課主任)
(株) コ ス ガ コスガインテリアデザイン研究所 東京支店: 東京都中央区東日本橋2-15-4 〒103 (03) 榎田 均 (副所長)	(株) サ ン ゲ ツ 東 京 店 東京都品川区東品川3-20-17 〒140 (03) 474-1181 日比東三 (東京店店長)
(株) コ ト ブ キ 武蔵野工場: 東京都武蔵野市境5-14-16 〒180 (0422) 52-2111 鈴木文彦 (開発課)	(株) 志 野 陶 石 京都市中京区御池御幸町西・北側 〒604 (075) 222-2311 仲上正太郎 (S P企画室室長)
サ ン ・ カ ー ペ ッ ト (株) 大阪府堺市土師町1714 〒593 (0722) 79-1222 田中正彦 (企画開発部課長)	(株) 商 園 東京都渋谷区東1-26-26 富士ビル8 F 〒150 (03) 407-8313 藤原義弘 (専務取締役)

「機関誌」など頒布案内

「インテリアデザイン」(機関誌)			
会 員	1 冊	無 料	
〃	2冊目以降	700 円	
	(送 料	200 円)	
会 員 外	(送料共)	1,200 円	

会 員 名 簿			
会 員	1 冊	無 料	
〃	2冊目以降	3,000 円	
		(送料共)	
会 員 外	5,000 円	(送料共)	

年 鑑「日本のインテリアデザイン」— しつらいの創造		パンフレット 申込ハガキあり
会 員	13,000 円(送料共)	
会 員 外	14,600 円(〃)	
年 鑑「日本のインテリアデザイン」— 光とのかかわり		パンフレット 申込ハガキあり
会 員	13,300 円(送料共)	
会 員 外	14,800 円(〃)	

インテリアマップ TOKYO AREA 84 ～ 85			
会 員	1,300 円	(送料共)	
会 員 外	1,700 円	(送料共)	

デザインの業務および報酬基準		報 酬 基 準 書	契 約 書
インテリア	会 員	300 円	100 円
	(会 員 外)	(500 円)	(100 円)
プロダクト	会 員	300 円	200 円
	(会 員 外)	(500 円)	(500 円)

J I D N E W S			
バックナンバー			
会 員	70 円(送料共)		
会 員 外	300 円(〃)		

協会案内パンフレット			
会 員	60 円(送料共)		
会 員 外	200 円(〃)		

事務局短信

① 次期の選考委員の選挙が予定されています。名誉会員と正会員の方々には大切な権利行使の2年に1回の機会です。投票用紙などがお手元に届きましたら、できるだけ早目にご回送、ご投票下さい。

② 11月はシンポジウム、展らん会などデザイン関係の行事も多くなります。JDD 実行委員会でも現在企画の大詰めに入っています。ご案内をお待ち下さい。

③ 新しい「インテリアマップTOKYO AREA 84-85」が刊行されました。頒布案内にもありますが、会員には有利な購入ができます。積極的なご利用をお願いいたします。別に会員向けに無償1冊提供の可能性も新マップ出版特別委員会（長堀映司委員長）の方で現在検討中です。

④ 会費未納の方々へお願い

会計年度も下期を迎えました。上期に会費未納の方へ現在請求書を発送しておりますが、ぜひとも積極的なアクションをお願いしたいと思います。

⑤ 過年度会費未納の方へお知らせ

本年度から、会員規定の一部（権利の停止期間が原則として6ヶ月と短縮）が改訂されました。11月を以てその期

限が来ます。除名という最悪の場合を避ける意味で、早目の納入をお願いいたします。

⑥ 新年度の名簿の作成には、原稿、写真、マークロゴなど、会員各位には多大のご協力をいただきました。お蔭様で、現在11月一杯に発行すべく大奮闘中です。ありがとうございました。

⑦ ⑥に関して関連企業に広告協力を依頼中です。特に正会員の方々の斡旋、情報提供などがあると事務局担当は大助かりです。よろしくお願いいたします。

⑧ お詫び：不本意ながらJID NEWS 8月号は欠番となりました。不手際深くお詫びいたします。

⑨ 国井喜太郎産業工芸賞の人びと — 35人のプロフィールを書名とする本が、このほど財団工芸財団（豊口克平理事長）から発刊された。昭和48年に始まる第1回から昭和57年の第10回まで、35人の受賞者のプロフィールを、業績、作品など写真入りで収録している。つまり、一つのデザイン史アルバムとも見ることができる興味深い内容となっている。

残部が若干あるとの財団からの好意で、JID事務局でも購入できます。ご利用下さい。（A4版、アート紙、150ページ、写真多数、¥2,500（千とも））（事務局）

JID NEWS

1984/9・10

（日本インテリアデザイナー協会月報 1984年通巻第129号）

頒価 300円（送料共）

編集・社団法人 日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和59年10月5日発行

中村圭介・合田正甫・大和宏・前原誠・安藤孚

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

村口峯子・高木敦子・山品元

柏原秀夫（関西）・溝口新（九州）・田村悠（中部）

印刷所・広洋印刷株式会社

振替・東京8-76389